

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

N o	交付対象事業の名称	①事業概要 ②事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	決算額 (千円)	交付金 充当額 (千円)	事業実績	事業の効果
1	農業集落排水施設使用料減免事業	①営業停止した観光施設を支援するため、下水道使用料金を補填し、施設経営の支援を行う ②道の駅あわくらんど、国民宿舎あわくら荘、あわくら旬の里、あわくら温泉黄金泉	R2.4	R3	5,387	5,387	支援金として、観光施設4施設の減免相当額を給付した。	観光施設の下水道料金の減免相当額を給付することで、施設経営支援に寄与した。
2	新型コロナウイルス感染症緊急対策支援金	①事業収入が減少している村内の法人・個人事業主を対象に、事業継続のための支援および地域産業と雇用の維持をはかることを目的とした支援金を交付する(前年同月比20%以上減少した事業者) ②村内の事業者(法人・個人事業主)	R2.5	R3.3	13,900	8,200	法人・・・想定30事業者に対し、13事業者へそれぞれ50万円給付。 個人事業主・・・想定50事業者に対し、37事業者へそれぞれ20万円給付。	村内法人・個人事業主に支援金を交付することで、事業継続の支援に寄与した。
3	給食供給新型コロナウイルス対策事業	①給食供給における新型コロナ対策として、備品を購入する。 ②給食施設	R2.6	R3.3	989	989	給食蓋付き食缶8台、給食微生物ろ過装置1台、紫外線紫外線衛生保管庫3台	小中学生に提供する給食施設において、本備品を導入することで、適切な感染症対策が図られた。
4	あわくら会館安全・安心の交流拠点づくり事業	①あわくら会館(公民館)にて、ワークスペース等利用者のソーシャルディスタンスを確保した交流拠点施設づくり・利用者が安心して利用できる場の創出 ②あわくら会館	R2.6	R3.3	51	51	卓上パーティション	本備品を導入することで、適切な感染症対策が図られ、安心安全な場づくりに寄与した。
5	遠隔・オンライン学習の環境整備、GIGAスクール構想への支援事業	①GIGAスクール構想実現のため、生徒のパソコン等を導入する。 ②小・中学校	R2.6	R3.3	2,241	2,241	タブレット40台、Webカメラ11台、Wi-Fiフィルター12台	生徒端末、Webカメラ等が整備され、GIGAスクール構想に向けた環境整備が整ったことにより、教育のICT化が図られたほか、臨時休校等の際の学習機会が保障された。
6	観光施設感染予防対策支援金	①指定管理を行っている道の駅・温泉入浴施設において感染を予防し、経営の安定化を図るための支援。 ②道の駅あわくらんど	R2.6	R3.3	3,129	3,129	券売機1台・トイレ自動水栓設備6カ所、パーティション	本備品を導入することで、観光施設の適切な感染症対策が図られた。
7	診療所発熱外来室整備事業	①診療所の院内感染によるクラスター化を防ぐため、発熱外来室の整備。 ②診療所	R2.6	R3.3	3,300	3,300	発熱外来室の入口の新設	発熱等の症状がある方と、一般診療で受診する方を分けるため、発熱外来専用入り口を新設することで、診療所内での感染防止が図られた。
8	避難所における新型コロナウイルス対策事業	①避難所における新型コロナ対策 ②村民	R2.6	R3.3	829	824	間仕切り40セット、段ボール40セット、検温器8台	避難所において、間仕切り等の密を避けた感染症対策により、感染のリスク低減が図られ、村民の安心安全につながる事ができた。
9	マスク等供給事業	①感染拡大防止のため、マスク等の整備を行う。 ②村民、教育関係、診療所、社会福祉協議会等	R2.6	R3.3	4,340	4,340	マスク(77,000枚)、消毒液(340個)、手袋、抗菌ペーパー等一式	各施設マスクを常備することにより感染予防に寄与した。
10	拠点施設コロナ対策整備事業	①来年度グランドオープンする生涯学習施設、庁舎が一体となった施設は、withコロナ時代において、対策の拠点、災害時に避難拠点となる場所である。感染症対策については3密を避けるためには、換気、温度設定などを効果的に行う必要があることから、集中制御システムを導入し、適切な換気、温度コントロールを行い、3密対策、対策本部・避難所機能の強化を図る。 また、3密を避け適切な感染症対応を行うためには、可変性の高い部屋づくり、家具の整備、入口へのサーマルカメラ設置などが必要であることから整備を行う。 ②あわくら会館	R2.4	R3.3	22,412	20,566	換気、温度管理集中制御システムの整備一式、サーマルカメラ2台	災害時に避難拠点となる施設において、換気・温度管理集中制御システムの整備を行うことにより、適切な換気、温度コントロールが可能になり、感染症対策に寄与した。
11	行政ポイント付加サービス事業	①全村民対象に行政ポイント付加サービスを行い、インセンティブの手法を整備することで、住民の行政や各種事業への参加を積極的に促し、自治やコミュニティ活動・健康作り、防災活動などの向上を図る。コロナウイルス対策など住民に対する支援費の支給などについても活用する ②村民	R2.9	R3.3	8,100	8,100	行政ポイントサービスの構築	本サービスを整備することで、各種行政サービス・取組への参加を促すことができ、また、貯まったポイントは村内で使えるギフト券になり、村内産業・地域経済の活性化につながった。
12	新宿泊施設整備基本設計事業	①ウィズコロナ時代を念頭に置く新宿泊施設の建設に係る基本設計を行う。来客者同士の接触を避ける構造を検討し、村の魅力や体感できる拠点の機能を設けることで、ニューノーマル時代の関係人口を醸成する仕掛けとする ②新宿泊施設	R2.9	R3.3	27,500	27,500	新宿泊施設整備基本設計	ウィズコロナ時代の新たな宿泊施設のあり方を取り込み、また村の魅力や体感できる拠点の機能を設けることで、地域の観光需要を取り戻すことを目指した基本設計を行うことができた。
13	元湯空調整備事業	①観光施設の換気設備を強化することで、感染リスクの低減を図る ②あわくら温泉 元湯	R2.9	R3.3	1,815	1,815	エアコン5台	観光施設のエアコンを更新することによって、利用者の感染リスク低減に寄与した。
14	学校保健特別対策事業費補助金事業	①児童生徒の学びの保障のため、感染症対策等を徹底しながら、教育活動を実施するため ②小・中学校	R2.4	R3.3	2,012	1,000	電子黒板1台、拡大コピー機1台、フェイスシールド、修学旅行バス係り上げ料、閉谷研修バス係り上げ料、空気清浄機8台、職員用タブレット4台	各学校における感染症対策や学習保障を行い、感染拡大を防止しながら、学校教育活動を支援した。
15	保育園感染症対策事業	①平成29年度に整備した西栗倉保育園については、地域の資源を生かした冷暖房を行うため、高気密、高断熱を行う事を前提として整備を行った。今回の感染症対策においては、密対策、換気対策が必要となるため、建具の改修を行い、換気対策の強化を行う ②保育園	R2.9	R3.3	858	858	木製建具の改修	建具の改修を行うことで、換気対策の強化を図った。
16	SDGsによる新しい地域創造事業	①コロナ禍において、村の将来ためには地域内の経済循環をさらに高める必要があるが、それには役職員だけでなく、住民の活力も高めることが不可欠である。そこで村全体で持続可能性を目指し、地域内の課題等を分析・認識し、SDGsの視点を取り入れたアクションプランを住民とともに策定を行う ②村民	R2.6	R3.3	6,109	6,109	SDGsによる新しい地域創造アクションプラン策定	コロナ禍で影響を受けている住民同士の交流機会の低減や地域経済において、村民とともに策定した本アクションプランを次年度から村全体で推進していくことで、持続可能な村を目指す。
17	にしあわくら地域商品券発行事業	①新型コロナ感染症対策促進等の支援を行うことを目的に、村内各家庭への経済的支援、村内事業者への事業継続の下支えとして、全村民へ地域商品券(1,000円×10枚/1人)を配布する。本事業においては、商品券作成を行う ②村民	R2.10	R3.3	2,610	2,610	地域商品券の作成1400セット(翌年度配布)	村内各家庭への経済的支援、村内事業者への事業継続支援を目的に、商品券の作成を行った。配布は翌年度実施する。
18	学校保健特別対策事業費補助金	①児童生徒の学びの保障のため、感染症対策等を徹底しながら、教育活動を実施するため ②小・中学校	R2.10	R3.3	1,640	800	水道蛇口取替10カ所、網戸修繕8カ所、電子黒板1台、マスク・消毒液一式	各学校における感染症対策を行い、感染拡大を防止しながら、学校教育活動を支援した。